

令和7年度 学校評価

学校名	加古川市立志方東小学校
-----	-------------

1 教育目標 **こころ豊かな たくましい子 ~Challenge・Chance・Change~**

2 基本方針

めざす児童像	「生きる力を育む」 ○考える子「知」 ○やりぬく子「知」「徳」 ○助け合う子「徳」 ○たくましい子「体」「徳」
めざす学校像	「心を込めて精一杯」で優しさが連鎖する学校づくり
教職員の育成・学校業務改善	○ミドルリーダーを核とし、OJTや組織としての対応を通して教職員の指導力向上を図る ○複式学級を視野にチーム体制を強化し、全校的視点で協働できる教職員集団をつくる ○タイムマネジメントに対する教職員の意識向上、定時退勤日（毎週水曜日）の徹底
研究主題	思考力、判断力、表現力の育成～少人数を活かす授業の創造～
学校施設の更新	○教育相談室（旧特別支援学級）の新設 ○学習スペースの確保（合同授業） ○図書室に「学習情報センター」の機能を加える

3 指導目標

「強い心」の育成：Challenge（チャレンジ）・Chance（チャンス）・Change（チェンジ）	1少人数を活かす授業の創造	◎ICT活用を通して「協同的な学び」と「個別最適な学び」の推進 ◎複式学級を視野に、少人数集団における効果的な授業づくりと指導者チーム体制の構築 ◎豊かな人間関係づくりと体験活動（異学年交流・ユニット・体験・福祉） ◎いじめ防止の取り組みの充実
2心の教育の充実	3健康と安全・強い心の育成	◎体力・意欲の向上 ◎強い心の育成「目標」「協力」「役割を果たす」 ◎保健指導と安全・防災
4地域の光となれる学校		◎地域とともにある学校づくり ◎ふるさと体験学習の充実 ◎学校運営委員の参画

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
1. 少人数を活かす授業の創造	○端末使用のスタンダード化を継続 ○1人1台端末を活用した効果的授業実践の追究 ○複式学級を視野にカリキュラム、指導方法・指導体制（チーム体制）の構築に向けた研修と実践	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末の活用率市内突出状況を維持。引き続き、文房具として積極的な活用をする。 ・異学年合同授業・教科担任制・先行校視察（篠山・三木）したことを全職員がかかわって検証・研修する。 ・「自由に参観デー」を設けて教師も学び合い、授業改善をはかる。 ・基礎学力を強化するために、時間を決めてペア学年で計算問題を解き合う。 ・図書ボランティアや教職員、委員会児童の読み聞かせ運動やブックトークを行い、児童が本に親しめる環境を強化していく。また、読書日より「よむよむ」を発行して啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級を見据えた取組を聞いて着々と準備されていると感じ、安心した。 ・1人1台の端末、子ども達が毎日活用してすばらしいと思う。 ・児童・保護者とともに評価にすれのある「読書」について本を身近に感じる啓発活動の取組は大事である。 ・子どもたちからの本の紹介を積極的に取り入れてほしい。 ・紙ベースの授業も大切にしてほしい。 	A
2. 心の教育の充実	○少人数で課題となる人間関係づくり ○危機感をもって取り組む生徒指導 ○特別支援教育の一層の充実を図る ○道徳授業を中心に、心に響く指導に努める	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「交流給食」は好評だったので、引き続き学年をこえた集団の学びの核として行う。 ・アンケートや教育相談などでいじめ防止の未然防止・早期発見に取り組む。 ・児童・保護者との「信頼関係」構築のために、学校全体でチームで取り組む。 ・1人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図る。 ・親子読書や道徳日より「コンパス」の発行等で家庭でも人権や道徳の話題になるように啓発する。 ・「心を込めて精一杯」精神のもと感謝・優しさの体得をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流給食は、少人数の特性を生かした良い取組である。 ・年齢や地域の異なる児童との交流を通して、人間形成に寄与している。 ・「心をこめて精一杯」の精神のもと、心の教育活動が充実されていると感じた。 	A
3. 健康と安全・強い心の育成	○体育学習・体育的行事の充実と推進 ○自覚を育み達成感が味わえる特別活動の推進 ○規範意識・生活習慣の定着（保健・生徒指導・安全）	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」に向かって集団で伸びる力、粘り強く取り組む力の育成を図っていく。 ・力を含む体験・学習の積み上げをする。 ・「立場が人を育てる」のもと、役割を担い、果たすことで自信とたくましい心を育む。 ・少人数だからこそ、一人ひとりにスポットが当たる機会をつくりだしていく。 ・親子で学ぶネットトラブル防止講座を行い、情報モラルを学ぶ。 ・交通安全教室、避難訓練をはじめ、防災教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境のもと、子どもたちはすくすくとたくましく成長している。 ・学校行事での児童の役割分担などを通して、協力や役割を果たすことの大変さや必要性を学習している。 ・全員が発表する機会が保障され、小規模校のよさを活かしながら、自信を育み、「強い心」への取組がわかる。今後もいろいろな経験をさせてほしい。 	B
4. 地域の光となれる学校	○地域の教育力を活用したふるさと学習の充実 ○学校運営協議会との連携・協働の強化 ○ユニット交流の積極的推進 ○学校情報を保護者・地域に発信	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境体験学習・150周年に向け地域や学校の歴史学習などを通して、地域の特色を生かした学校運営を充実させる。 ・運営委員の学校運営への主体的参画（環境美化・周年事業）を継承していく。 ・ユニット間での定期的な体験活動や授業交流を通して、集団保障に努める。 ・ホームページ更新や学校だよりなどで、保護者や地域への積極的な情報発信や地域との協働体制を継続して充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信により、学校の取組や児童の活動状況が保護者をはじめ、地域の人たちにも十分理解されている。 ・ふるさと自然や歴史・文化などの地域の特色やよさをぜひ教えてほしい。 ・コロナ禍以降、PTAや運営委員などユニット間での交流する機会が少ない印象があるので、充実させてほしい。 	A